

図書館だより

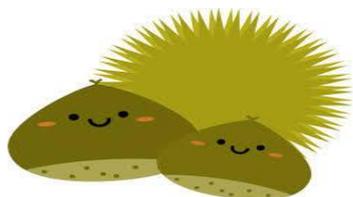


武雄高等学校 図書指導部
令和2年11月17日発行

1・2年生のみなさんは、クラス読書会によって、読書のおもしろさや奥深さを理解できたことだと思います☆この読書会をきっかけに、今後も読書に親しんでいただけると幸いです(*´▽`)
クラス読書会の進行をしてくれた1・2年生の図書委員のみなさん、お疲れ様でした(*´▽`*)



◇クラス別貸出総数◇



今年度の目標…生徒1人あたり5冊以上貸出



※2020.4.1～2020.10.31



・総計…2544冊
・生徒1人あたりの平均冊数…3.6冊/人

●学年別の貸出総数●
1年：1475冊 2年：512冊 3年：557冊



☆クラス読書会 感想紹介～11/5(木)・11/10(火)のLHR～☆

<1年生>『螢川』宮本 輝【著】

・クラス独自の案を発表してもらったときから、積極的に意見を出してくれた。難しい内容の柱だったが、悩みながらも多様なアイデアを出してくれたのがとてもよかったし、助かった。的外れの意見もなく、みんなが真剣に考えてくれていたのが伝わってきた。

・自分が他の人と全く違う読みとり方をしていたので、同じ物語を読んだはずなのに、どうしてこんなに違うのか、不思議に思いました。

・自分が最初に読んで思いついたり、気づかなかった所も学級で話し合うことによって『螢川』を深く読み込むことができたと思う。”死“について考えさせられる小説だった。

<2年生>『李陵・山月記』より「弟子」中島 敦【著】

・どの班でも積極的に意見を交わしているように見えた。また、他人と意見を交わすことで新たな発見や視点を見ることができて楽しかった。

・漢文体で注釈と本文を行き来しながら読んだ本であったが、子路と孔子という2人の生き方、考え方を軸にした話はとても面白く、また子路の人生も興味深かった。自分1人では読もうと思わなかったタイプの本なので読めて良かった。

・感情的な子路と理性的な孔子の対照的な様子や、子路が老人や孔子と出会ったり、衛を統治したりする中で、考え方や性格が変わったり成長したりする姿が印象的でした。

寺地はるなさん特集

みなさんは、寺地はるなさんという作家を知っていますか？(*´▽`)寺地さんは佐賀県出身ということで、この度、寺地さんの作品を8作購入いたしました☆寺地さんの作品は、心が温かくなるものがとても多いです(*´▽`)みなさんも寺地さんの作品を読んで、心をほっこりさせてみてはいかがでしょうか？(*´艸`)

寺地はるなさんとは??



1977年、佐賀県唐津市生まれ。32歳で結婚と同時に大阪に転居。2012年、パート勤めの傍ら35歳から小説を書き始め、文芸誌へ応募するようになる。応募し始めて2年半ほど経った2014年、『ピオレタ』で第4回ポプラ社小説新人賞を受賞。本作は2015年6月に単行本化され、作家デビューを果たす。恋愛や結婚、家族愛など、誰もが身近に感じられるテーマを独特の世界観で綴ることを得意としており、ファンタジーとも現実とも違う、斬新な設定が多い。

本校図書館の寺地はるなさんの作品

①『ピオレタ』(ポプラ社)



婚約者から突然別れを告げられた田中妙は、ひょんなことから雑貨屋「ピオレタ」で働くことになる。

⑤『今日のハチミツ、あしたの私』(角川春樹事務所)



中学生のころ、碧は見知らぬ女の人から小さな蜂蜜の瓶をもらった。その16年後、30歳になった碧は恋人の故郷で蜂蜜園の手伝いを始めることに。

②『架空の犬と嘘をつく猫』(中央公論新社)



「あなたは社会にとって、なんの役にも立っていない子」そう言われて育った羽猫家長男の山吹。彼が大人になり、みんなの“嘘”が解かれたとき、本当の家族の姿が見えてくる。

⑥『夜が暗いとはかぎらない』(ポプラ社)



大阪市近郊にある晝町。閉店が決まった「あかつきマーケット」のマスコット・あかつきんが突然失踪した。かと思いきや、町のあちこちに出没し、人助けをしているという。

③『ミナトホテルの裏庭には』(ポプラ社)



祖父から大正末期に建てられた宿泊施設「ミナトホテル」の裏庭の鍵渡しを頼まれた芯輔。そこは、「わけあり」のお客だけを泊める、いっばう変わったところだった。

⑦『リアルプリンセス』(ポプラ社) ※他の作家と共著



古今東西の様々なプリンセス・ストーリーを、現代に置き換えたら？女性作家6名が、時に切なく、時に温かく、時に残酷に紡ぎ出した名短編集。

④『大人は泣かないと思っていた』(集英社)



時田翼 32歳、農協勤務。大酒呑みで不機嫌な父親と2人暮らし。そんな翼の日常が、庭に現れた柚子泥棒との遭遇で動き出す。

⑧『水を縫う』(集英社)



普通の人なんていない。普通の家族なんてない。世の中の“普通”を踏み越えていく、6人の家族の物語。